



真土大塚山古墳には歴史がいっぱい

特集 わたしたちの地区の自慢

巨大な 真土大塚山古墳

真土には有力な豪族がいた

豆記者



小澤 拓弥



佐藤 匠



樽井 花織

歴史と文化あふれる大野地区。そこには昔、真土大塚山古墳がありました。わたしたちは古墳のことをもっと知りたくて、真土大塚山公園に行ってきました。

この人のお墓でした。  
今、真土大塚山公園の中にある真土大塚山古墳。でも、実は本物の真土大塚山古墳は、公園から少し南の位置にありました。本物の高さは公園にある古墳の二倍、広さはなんと四倍！公園にある古墳も相当大きいのに、本物の大きさはその倍以上です。機械などなかった時代に造ったのだから、作業は大変だっただろうなと思いました。

真土大塚山公園に土を高く盛り上げて造った二つの丘があります。これは真土大塚山古墳を再現したものです。古墳というのは、三世紀の終わりから七世紀ごろに造られた豪族のお墓のことです。平塚にも真土大塚山古墳という古墳があります。四世紀



こ、これが三角縁四神一獣鏡

この大きな古墳を発掘したとき、中からいろいろなものが出てきたそうです。鉄の剣、勾玉、鏡などです。中でも大発見だったのが、三角縁四神一獣鏡という鏡でした。この鏡は関西の古墳でよく見つかったもので、真土にいた豪族は関西の人とも交流があったと言われています。電車や車もない時代に遠くの人と交流したのだから、とても有力な豪族だったんですね。こうやってみていくと、真土大塚山古墳はかなり立派な古墳だったということがわかります。わたしたち

わたしが住んでいる土地の地名の由来

大野地区

- 真土 (小澤拓弥)  
昔は新土という呼び方で、新しく開発した土地という意味からつけられました
- 御殿 (佐藤匠)  
徳川家康が鷹狩りをしたときの別荘・中原御殿があったことからつけられました
- 八幡 (樽井花織)  
平塚八幡宮があることからつけられました

が住んでいる平塚にあるとは、まさに平塚のお宝ですね！真土大塚山古墳をみんなで見学、大切にしていきたいましよう。



再現した古墳の上に登ってみました